

評価シート 様式

取組名	「空港、高速道路の整備を生かした奥大井観光振興プロジェクト」		
実施団体名	大井川観光連絡会	対象地域	静岡県川根本町及び島田市の一部(旧川根町・旧金谷町)
(代表団体名)	川根本町	推薦団体名	—

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
(備考・特記事項)		(備考・特記事項)	
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
(備考・特記事項)		(備考・特記事項)	

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	「空港、高速道路の整備を生かした奥大井観光振興プロジェクト」		
実施団体名	大井川観光連絡会	対象地域	静岡県川根本町及び島田市の一部(旧川根町・旧金谷町)
(代表団体名)	川根本町	推薦団体名	—

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	韓国・中国からの留学生を活用し、それぞれの国における奥大井の知名度向上を目指すとともに、地域づくりへの住民参加促進のため、「地域まるごと博物郷」形成のための事業を進めた点で、先導性・モデル性のある取組であったと評価できる。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本年度事業に関しては、概ね予定していた取組を実施し、一定の成果を上げたものと思料されるが、基礎的調査の段階であり、次年度以降取組を具体化の上で以下の点に留意しつつ地方の元気再生事業を継続することにより、本格展開を目指すべきものである。
	次年度事業のうち「空港の整備を活かした東アジアからの誘客対策、観光地づくり」に関しては、さらに事業内容を精査の上、具体化が図られたものに重点化して取り組むこととするほか、空港の運用開始を踏まえて、観光商品の開発・販売は民間の取組を活用するべきである。また、本年度調査で明らかとなった空港アクセス等の課題について、その克服に向けた適切な取組を行うべきである。一方、「エコミュージアムの考え方を取り入れた『地域まるごと博物郷』の形成」については、人材育成や地域住民の運営組織に重点化すべきである。